

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月5日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年8月19日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	パッサウ大学(日本語名) Universität Passau(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/英語、ドイツ語
留学期間	2023年10月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名:ビジネス学部 現地言語での名称:Business Administration and Economics <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 10月上旬～2月中旬 2 学期: 4月上旬～8月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	12000
創立年	1978

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	106*2=212	34980 円	
宿舍費	280*12=3360	554400 円	
食費	44*11=約 440	72600 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	10	1650 円	
携帯・インターネット費	9.99*11=109.89	18132 円	
現地交通費	0	0 円	学生証を提示し無料でバスを利用(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約 9000	1500000 円	ほとんどが旅費
被服費	100	16500 円	
医療費	0	0 円	
保険費	120*11=1320	217800 円	形態:TK
渡航旅費	約 780€+約 1270€ =2000€	約 340000 円	
ビザ申請費	50	8250 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	16602	2739330 円	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館からのメールで情報収集していました。スペインで現金をすられました。少額だったため特に被害届などは出していません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮でも大学でも問題なくインターネットは繋がりました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡航前に開設していた閉鎖口座から毎月1000ユーロ程度引き落とされ、その中でやり繰りしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日用品は基本何でも手に入ります。私は日本食を食べたくなることが多々あったので、だしの素、料亭の味等の調味料やインスタントをたくさん持って行ってよかったと感じました。しかしアジアンマーケットで基本的な調味料は全て手に入るのでこだわりがあれば、という感じです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Deutsch als Fremdsprache – Grundstufe 1 / A1		ドイツ語 A1
科目設置学部・研究科	学部問わず	
履修期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Carlos Meneses	
授業内容	ドイツ語の基本的な文法を学ぶ。	
試験・課題等	リスニング、リーディング、ライティングからなる期末試験一回で成績がつく。	
感想を自由記入	授業の進むスピードが早いため、授業時間外にも復習をすることが大切だと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Strategic Management		戦略的経営
科目設置学部・研究科	Business Administration and Economics	
履修期間	2023 年 10 月～2024 年 2 月	
単位数	5	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 100 分が 2 回	
担当教授	Andreas König	
授業内容	経営に必要な知識の学習。	
試験・課題等	シングルチョイス形式の期末試験一回で成績がつく。	
感想を自由記入	経営に関する知識がなくとも理解でき、また非常に面白い内容でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Englisch (Jura, WW, KW) – Grundstufe 2 / B1	英語 B1
科目設置学部・研究科	Business Administration and Economics
履修期間	2023年10月～2024年2月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Melissa Cain
授業内容	英語の文法について学ぶ。
試験・課題等	リーディング、ライティング形式の期末試験一回で成績がつく。
感想を自由記入	英会話をする時間が授業内に多くあったため、英語に慣れる目的で受講しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Deutsch als Fremdsprache – Grundstufe 2 / A2	ドイツ語 A2
科目設置学部・研究科	学部問わず
履修期間	2024年4月～2024年7月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	Izabela Schmidberger
授業内容	ドイツ語の文法についてドイツ語で学ぶ。
試験・課題等	リスニング、リーディング、ライティングからなる期末試験一回で成績がつく。
感想を自由記入	A1と比べて授業内容のレベルが上がり、また教授があまり英語を話せない方だったためついていくのがかなり大変でした。きちんと復習することが大切だと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of Digitalization and Digital Trends	デジタル化の機能とデジタルトレンド
科目設置学部・研究科	Business Administration and Economics
履修期間	2024年4月～2024年7月
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	Andreas König
授業内容	デジタル化が世界に与える影響について。
試験・課題等	シングルチョイス形式の期末試験一回で成績がつく。
感想を自由記入	個人的には最も興味深い講義内容だと感じました。おすすめです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

特になし

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

これから一年の休学をして就職活動をする予定です。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は焦って留学中に少し就活をしていた時期があったのですがうまくいかず、貴重な留学期間を就活に割いてしまったことを少し後悔しています。異国の地に長期間滞在できる機会はなかなかないと思うので、そこでしかできないことをたくさん経験してほしいです。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	留学を決意
	4月～7月	留学の基準スコア取得に向け勉強
	8月～9月	同上
	10月～12月	学内選考、パッサウ大学に留学先が決まる
留学開始年	1月～3月	留学に必要な書類等の準備
	4月～7月	同上
	8月～9月	航空券の購入、留学準備
	10月～12月	留学開始
留学/帰国年	1月～3月	期末試験、春休み
	4月～7月	夏semester開始
	8月～9月	期末試験、帰国
	10月～12月	就職活動開始

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

○留学先を選んだ理由

実践的な英語力を身につけることが留学前の 1 番大きな目標だったため、できるだけ日本人の少ない環境に身を置こうと考え、英語圏に比べて日本人留学生の少ないヨーロッパで留学先を考えていました。中でもパッサウ大学は国際交流イベントの開催が多く、留学生の数が多いたため留学先を選びました。

○留学生生活について

パッサウ市内では英語が通じないこともあるため、ドイツ語を使う機会が多かったです。そのため留学生の友人との会話や講義で英語力を伸ばし、日常生活では簡単なドイツ語を習得することができました。またドイツ自体がヨーロッパの中心に位置しているため、多くの国に旅行することができました。勉強をしつつ休日にも充実させられる街だと思います。留学生の数もかなり多く、特にヨーロッパ圏からの留学生が多かったため、自身とは全く異なる価値観を持つ人々との文化交流が達成できとても楽しかったです。

○アドバイス等

私はあまり英語を使って生活したり、授業を受けたりといったことに慣れていない状況で留学し、初期は自分の英語力のなさに悩まされることが多かったです。そのため、できるだけ留学前には英語に慣れ親しんでおくことが大切だと感じました。しかしこの 10 ヶ月で日本にいるよりもかなり多くの学びがあり、英語力向上だけでなく人間的にも成長できたと感じています。もしも語学力や海外で生活することへの不安から留学をためらっている方がいれば、迷わず留学することをお勧めしたいです。応援しています！